

かみかつ

豊かで 住みよい 町づくり

VoL.18

発行/上勝町議会 〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原 ☎08854(6)0111 編集/議会広報調査特別委員会

トンネル出たら活性化の町



クイズ ○完成時期は？ ○長さは〇〇m
(こたえは末尾にあります)



目次

- | | | | |
|---------|-------|--------------------|----|
| ■ 6月定例会 | 2～3 | ■ 議会の動き | 15 |
| ■ 一般質問 | 4～9 | ■ 写真で紹介まちのようす・編集後記 | 16 |
| ■ 研修報告 | 10～14 | | |

第三回定例会

会期 八日
開会 平成十七年六月十六日
閉会 平成十七年六月二十三日

一課一室廃止(行革)

△まちづくり推進課
△国土調査室

地域公共ネットワーク基盤整備事業・
加入者系光ファイバ網設備整備事業委託(勝浦町へ)

三億五千六百七十万一千円追加 ― 一般会計補正額 ―

六月定例会は十六日に開会、
笠松町長から提案理由説明後、
専決処分三件(改正条例一件、
補正予算二件)が上程され、原
案承認しました。

(内平成十六年度一般会計補正
予算については討論を行いました)
上勝町農業委員会委員の定数
条例の制定について上程され、
討論を行い原案可決。

改正条例二件、平成十七年度
補正予算四件、その他三件が上
程されました。
二十日は、六議員がそれぞれ
町政について一般質問を行いま
した。

二十三日は、改正条例二件、
その他三件、平成十七年度一般

推薦し、議員発議による意見書
一件を採択、請願一件を総務常
任委員会へ付託し閉会しました。

専決処分

上勝町税条例の一部を改正する
条例

平成十六年度上勝町一般会計補正
予算(補正第六号)

補正額
一億四千六百九十二万五千元
追加

歳入：特別地方交付税
歳出：財政調整基金積立金等
平成十六年度上勝町国民健康保険
(事業勘定) 特別会計補正予算(補
正第二号)

補正額
一百四十八万六千円追加
歳入：財政安定化支援事業繰入
金等
歳出：財政調整基金積立金

制定条例

上勝町農業委員会委員の定数条例
上勝町農業委員会委員数が十
四名以内になりました。

改正条例

上勝町課設置条例の一部を改正す
る条例

七月一日よりまちづくり推進
課および国土調査室が廃止され
ました。

上勝町国民健康保険税条例の一部
を改正する条例

国民健康保険税等の被保険者
均等割額、所得割額の算定率等
が改正されました。

補正予算

平成十七年度上勝町一般会計補正
予算(補正第一号)

補正額
三億五千六百七十万一千円追加
歳入：過疎債、前年度繰越金、
地方道路整備臨時交付金
等
歳出：地域情報通信基盤整備事
業業務委託料、落合橋・
田野々橋補修費等

平成十七年度上勝町介護保険特別
会計補正予算(補正第一号)
補正額
七百七十四万二千円追加
歳入：前年度繰越金
歳出：精算に伴う支払基金等へ

の返還金等

平成十七年度上勝町国民健康保険
(福原診療施設勘定) 特別会計補
正予算(補正第一号)

補正額
二十九万円追加
歳入：一般会計繰越金
歳出：福原診療所屋根防水工事
等

平成十七年度上勝町老人保健事業
特別会計補正予算(補正第一号)

補正額
八百四十七万三千円追加
歳入：過年度医療費負担金
歳出：精算に伴う支払基金への
返還金等

意見書

分権時代の新しい地方議会制度
の構築を求める意見書

請願

障害者の福祉・医療サービスの
利用に対する「応益負担」等を
中止し、障害者自立支援法案の
慎重審議を求める請願

その他

●上勝町・勝浦町地域公共ネット
ワーク基盤整備事業、加入者系

報告

- 平成十六年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書
- 株式会社かみかついきゅうの経営状況
- 株式会社上勝バイオの経営状況
- 株式会社ウインズの経営状況
- 株式会社もくさんの経営状況
- 株式会社いりどりの経営状況
- 上勝町土地開発公社の経営状況



学校訪問(上勝小学校)



学校訪問(上勝中学校)

一般質問



美木 章 議員

笠松町長は本年四月に再選され、多くの公約を町広報五月号で周知している。

問 公約実現にどのような方法を考えているか。

答 町長 幅広い分野は、実行委員会、ワーキンググループを組織し検討。狭い分野は担当課等で対応する。最重要政策としている。次代を担う若者定住の推進にどのように取り組むか。

問 町長 男女交流の機会作り、ＩＵターンの促進。次世代育成支援、子育て支援、若者住宅の整備、緑の協力隊受け入れ等に取り組む。

答 町長 シルバー人材センターの育成、養護老人ホームの民間委託の要望、鳥獣害対策、高度情報通信網の整備、十五m以上の橋の調査予算の計上等は始めている。

問 上勝町分の事業又町費負担はいくら位か。

答 総務課長 全体で約十億八千万円、内上勝分約四億七千万円で補助残の約二億八千万円を過疎債で対応する。

問 加入アンケートの六月十七日時点の状況はどうか。

答 総務課長 六月二十一日現在、八六六世帯中六五四世帯七五・五%が加入希望である。

二期目公約の

取り組みについて

初期費用六万五千円を軽減すべく勝浦町と協議し九月頃までに決定すべきと思うがどうか。

答 町長 サービス事業提供者が決まれば、勝浦町と軽減について協議し九月頃までに確定したい。

高度情報通信網の整備について

総務課長 全体で約十億八千万円、内上勝分約四億七千万円で補助残の約二億八千万円を過疎債で対応する。

問 加入アンケートの六月十七日時点の状況はどうか。

答 総務課長 六月二十一日現在、八六六世帯中六五四世帯七五・五%が加入希望である。

問 教育長 小中学校でふるさと学習によく取り組まれている。人事異動を体験して、病休の対応等むずかしい点もある。

答 町長 小中学校でふるさと学習をよく取り組まれている。人事異動を体験して、病休の対応等むずかしい点もある。特に取り組む課題は何か。

答 教育長 子供達の命を大切に教育。ふるさと教育、又生涯学習の中で男女交流の機会を作る等である。

農村と都市の交流について

問 福原ふれあいセンターで長野県飯田市での体験発表があったが、その後の対応は。

答 まちづくり推進課長 三月に県へ規制緩和について要望した。その後農山村整備課が説明に来町。ホームステイ方式であれば、農家民泊は旅館業法の対象にならない。

正木バイパスについて

本年、工事中の新藤川橋が完成されるが鶴居商店前、高鉾忠霊塔側交差点の交通安全が心配される。



新藤川橋付近

問 点滅信号等、交通安全協会、藤川名等とも協議し開通までに完成されたい。

答 まちづくり推進課長 交通安全施設等は警察協議事項であり、七月にも協議することであるので本町の担当も立ち合わせてほしい旨申し入れている。

問 新藤川橋の供用開始時期とバイパス完成時期は。

答 まちづくり推進課長 供用開始は十月頃。バイパス完成は予算の都合もあり完成年度は示されていない。

考えている。

コンクリート詰め産廃

問 町道杉地線で、医療廃棄物ないし検査器具様の物がコンクリート詰めされている。法律違反でないか。

答 まちづくり推進課長 物は北川式塩分検査管だ。製造元の光明理化学社で確認した。悪質な違反か県と協議中だ。



杉地線の産廃コンクリートブロック

第三セクター経営危機について

問 上勝バイオなど三社の営業収支は赤字だ。雑収入等で決算を黒にして経営危機を町民に隠している。

答 町長 大変な危機だ。社長にならざるを得なくなつた、最善を尽くす。あとは運もある。

安全・安心・公正なまちづくり

明本 恵一 議員

問 憲法九条は日本が戦争しないための最後の歯止めだ。九条を守るとこの壇上から宣言してはどうか。

答 町長 日本の憲法は素晴らしい。戦力で平和は築けないが防備力は最低限必要だ。

ケーブルテレビ問題

問 鳥取県日南町では、テレビだけの世帯は送信原価が五百円のところ、町が負担し無料。引込・宅内工事も全て無料、これが本来の姿だ。当町もテレビは無料、インターネットは徳島市内程度の料金とすべきだ。

答 町長 勝浦町と共同の事業だから、議員の提案については勝浦町と協議する。住民に「平成二十三年にテレビが見えなくな



新藤川交通安全対策

る」とおどしてアンケートを取った。町民は不安に駆られマルをした人も多い。インターネットは十五%しか二重ネット希望が八十%あると補助申請した。矛盾を感じないのか。

答 総務課長 超高速インターネット環境整備、放送通信融合だ。

問 利用料三千円の内テレビ利用料がいくら含まれているのか。

答 総務課長 佐那河内村・神山町の例では一千五十円だ。

問 民放連は区域外のデジタル放送は見えない。結局、今と同じではないか。

答 総務課長 NHKは条件付きで認める。民放連の事は知らない。

老人ホームの耐震対策

問 老人ホームの入居者が地震災害の危機にさらされている。一刻も放置できない。直ちに耐震対策に着手すべきだ。

答 町長 建物が基準に合わない事はわかってい

る。ホームは民間委託するのでムダになる。
問 人命の軽視だ。民間委託案は既に破綻している。労働組合も反対と言っている。

答 町長 生命は大切だが財政上できない。町民が負担することになる。大所高所から見ると「無駄金」は使いたくない。

新藤川橋の交通安全

問 県道新藤川橋交差点は、橋の開通によって上勝町で最も危険な交差点になる。スクールゾーンの指定、速度規制、歩道や信号機の整備など交通安全対策が急がれる。

答 町長 PTAや先生の見解を聞き、県・警察など協議の場で、住民意見を反映させる。

ゴミ収集の公約は

問 町長は、高齢者に「町が運ぶ」と公約した。いつ実施するのか。町政不信が広がっている。

答 町長 モニター制度を実施する、これを基に新制度を

一般質問

一般質問



美馬保明 議員

キャンプ場の上の 駐車場の現状

問 駐車場全体は、残土処理の埋立地で、できてい

る。そのため地盤が沈下して、長さ六十m・幅五mにわたって十cm程沈下している。対策する考えはないか。

答 町長 現地調査をして補修する考えは進めたい。



キャンプ場上の駐車場の沈下による段差

道路等の危険箇所 対策にどう取り組むか！

町道湖南線の地滑り地の危険対策をどうするか

問 温泉の上より二百mぐ

らい下の山本和義様山林付近の道路で延長六十m・全体で一m程度沈下している。道路中央部では十二cm程の段差がついている。地下には西簡水、温泉の泉源水道も埋設されている。崩壊でもすれば大変なことになりかねない。災害が起きる前に対策はできないか。

答 町長 この箇所についてはもう十年来さがつておると思うので、建設課長に聞いたところ、今回適当な時期に災害復旧で対応したい。

町道杉地線について舗装は

問 植林が進みすぎて人家

がある生活道とは思えない。せめて舗装だけでも新しくして、住んで良かったと思えるような模様替えができないか。

答 町長 現在の舗装のほとんどが、昭和四十五年の過疎法によって、できたものである。ほとんどの所が補修できていない。大きく傷んでいる所から現在調査中であるので緊急性のある所から計画的に進めていきたい。



湖南線地盤沈下による陥没状況

待望久しかった新藤川橋の交通安全対策は

問 新藤川橋が完成に近づ

いている。期待も、喜びも大きい反面、鶴居商店側交差点付近は危険でもありません。旧県道側に一時停止線を設けるとか、運転手に注意をうながす、振動する特殊舗装にするとか、充分な対策が必要だと思いが。

答 町長 各議員、町民より非常に心配されていることでもありますので、注意を与える振動舗装等も提案してあらゆる方法の中で一番良い方法を県の方へ提案し決定したい。



山崎 茂 議員

情報通信基盤整備事業 について

問 加入者負担金六万五千

円を半額町費投入して、全戸整備してはどうか。
答 町長 加入者負担金二分の一ということで、三万二千五百円になる。戸数を掛けると二千七百八十二万円となる。これ以外にも生活保護世帯等の配慮も必要かと思っている。勝浦町と十分協議しながら対処していきたい。

町営福川グラウンド等の 整備について

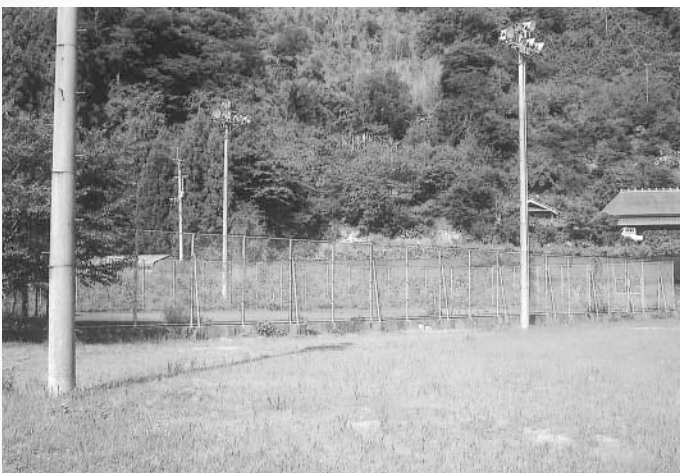
問 グラウンドに併設のテニ

スコート（放置状態）と盛土（残土）を除去して拡

当面する課題について

張と合せ、女性用便所を新設してはどうか。

答 町長 今回を機に、教育委員会、福川名建設課等関係者で協議し、便所の検討も合せ、予算については、良い助成制度はないか検討し、グラウンドの拡張を前向きに検討したい。



福川グラウンド併設のテニスコート

交通安全対策について

問 県道改良工事に伴う十

字路（鶴居商店）前に、信号機の設置と鶴居商店前から、上勝小学校の間、通学ゾーンを設けるべきでないか。

答 町長 信号機、路面の標示等は警察の協議事項ということであるので校長先生やPTA会長さん、はじめ関係者とよく議論し意見をまとめて、県の方へ要望していきたい。



新藤川橋のようす

歯科医師について

問 江上前歯科医師の後任

人事はどのようになっているのか。
答 町長 徳島市の協立病院の院長先生から、条件が合えばまとまるのでないかという話があり、七月上旬に、助役、住民課長が交渉の日程を現在調整中で、本町としては、条件が合えばお願いしたいと考えている。

ゴミ行政について

問 ゼロ・ウェイストアカ

デミーに委託して八十日が経過したが、問題点はないか。また委託後の住民の声はどうか。
答 町長 町外からの持込等心配もあるが、順調にいつている。住民の声については特に聞いていない。先般ゼロ・ウェイストアカデミーから、粗大ゴミ収集について、月一回を七月三日より毎週日曜日に収集したいと提案あり、町としても七月からお願したいと考えている。

一般質問

一般質問



藤田 欣宏 議員

渇水対策について

飲料水はだいじょうぶ？

問 今年度の異常気象下での簡易水道の水源確保、地震等の自然災害下での水源確保は心配ないか。

答 町長 東簡水、いっきゅう水（湧水）で、地震等で場合によっては流れが変わる可能性があるが具体的に検討できてない。

東簡水については、上流域のほとんどが分収造林で、伐採時期、渇水時期等が重なる影響が出るのではと心配する。こういう所は、重要水源地域として指定し、地主等の協力を得て長期的な施業計画をたてて、分収造林については何十年に分けて伐採する必要があるのでないかと思っ

いる。

答 建設課長 水道法上の認可の計画給水量、計画給水人口は次のとおり。

	計画給水量	計画給水人口	現 状
東 簡 水	144t	850人	264戸552人 150～200t
西 簡 水	203t	440人	159戸217人 60～80t
いっきゅう水	204t	395人	144戸

問

昨年度事業で東簡水の調査をしたが結果は。

渇水対策として週二〜三回水源地調査してるが、湧水については極限で落ちついてると思う。西簡水は漂流水であるが二〇〇tは確保されてる。



干上がった正木ダム湖
2005.06.22

答

建設課長 陳情、新規加入申込等で若生、折坂、蔭井谷、西峯地区で二十四戸の追加拡張と水圧の高いところの減圧水槽を検討している。

問

新規加入希望者への対応は。

答

建設課長 水道法上で区域広張の問題で変更認可が必要となり、計画給水量、計画給水人口の再検討し、補助対象になる物、ならない部分が生じる。外にも減圧水槽、パイプライン等いろんな問題が生じてくる。今後、全体の水量も含め総合的に検討していく。

水源税について

問 異常気象下での渇水対策として下流域（利用者）も協力すべきでは。

答

町長 神奈川県等全国式はあるので下流域の方の協力が得られるのなら、検討したい。そうすることによって意識の高揚が図れると思う。

第三セクター会社について

問 五社の内、四社を町長が社長を兼務しているが、目とどくのか。

答

町長 良いこと悪いこととも一刻も早く報告せよと話している。

問

人材育成、専務取締役等はどのように考えるのか。

答

町長 上勝バイオについては常勤の取締役がいなかったが三名の方に、もくさんは、二名の方をお願いし、両社共、代表取締役を別に一名お願いしている。

五社の情報収集と社長の意見の調査検討の為に町職員一名を配置する。

林業振興について



岡本 力 議員

保安林の規制緩和について

問 伐採後の樹種の選定、樹種の選定、規制緩和を県、国にお願いしていただきたい。

答 町長 ご質問の趣旨は本数規制、樹種の選定等規制緩和ということで、ケヤキ、桜、ブナ等の高木性の樹種であれば認められる。実質的には今回保安林を伐採されて、今度更新を二年以内にしなければならぬ、その人が出さなければならぬので担当に言っていただけでは書類をつくりません。基本は地主さんの意向があれば天然更新が最もいい方法でないかと考えています。



改修される落合橋

山林労務町内後継者の失業対策について

問

四月から十月、間伐と植林管理事業がなく、失業の状態が続いている。失業対策を考える必要があると思われるが、早期対策を後継者は悲願している。町長のお考えを願いたい。

答

町長 四月から十月、これが県の方ではその時に仕事ができるようにと言うことで、補助申請があれば許可は出しますとの返事をいただいている。しかし、その段取りができていない。関係者に寄っていただいて、県から指導いただいで体制づくりをしたい。

森林組合の事務所移転について

問

森林組合、農協、診療所と本庁周辺のまちづくりが一番必要と思えますが、町長としてのお考え、経過をお願いしたい。

答

町長 共販所土地賃貸料百三万八千八百円、土地事務所建物八十三万八千四

問 福原診療所の通院バス代の無料化、高齢者、体の弱い方に対する町の思いやりのある予算を組んでは。

答

町長 公平性を図る意味から無料化の方向で、時期的には、十月からなるうかと思えますが、具体的に検討してまいります。



一般質問

上勝町内産業視察

期日 平成十七年五月十八日
 参加者 多田議長・他八名・議会事務局長
 助役・職員四名

① 正木バイパス新藤川橋の現況

忠霊塔附近、鶴居商店附近
 農協ガソリンスタンド間の現場
 説明をうける



② 東部広域農道(第一工区)

美木章宅上
 国の予算の縮減により、橋は幅員六mであるが、路面については四mに縮小し、全線早期の完成を目指す



③ 杉地の土捨場現場

産廃一件について県と話をし調査必要あり



④ いっきゅう地区簡易水道

総延長二、六三二m



野尻貯水槽とポンプ場

⑥ 森林基幹道生実・八重地線

八重地工区の現場



⑤ いっきゅう地区簡易水道の水源(八重地)



計画延長 17,700m
 施工済 9,167m
 進捗率 51.8%

⑧ 株上勝バイオ工場

シイタケの出荷状況、菌床生産の状況
 厚膜の状況説明、森林組合と千葉製材のオガ粉の比較試験等々



⑦ 徳島中央森林組合オガ粉生産施設

原木等オガ粉の状況の説明をうける



総務常任委員会 学校施設等の視察報告

期日 平成十七年六月八日
参加者 美馬委員長・山崎副委員長・美木議員
明本議員・藤田議員・多田議長
議会事務局長

上勝小学校武知校長先生の出迎を受け、小学校一、二年生の公開授業で市宇集落へ土づくりの体験実習に出発するところを見学。次に給食センターで、新田先生の説明を受けた。武知校長先生より学校経営の説明を受け施設の視察。幼稚園では上村先生より話を聞いた。続いて三年生から六年生までの授業参観をした。十二時〜十二時四十分まで給食をともにした。彩保育園では高橋園長の話を聞く。上勝中学校へ移動して吉岡校長先生、田首教頭先生、村上先生、枘富先生から説明を受ける。授業参観、施設の視察をし中学校を後にした。あすなるクラブの学童保育で酒井先生より説明

を受けた。支所一階の隣室で要望等の取りまとめをした後、学校訪問を終了しました。



授業参観

勝浦郡町村議会議員研修会

期日 平成十七年七月六日
参加者 多田議長・他九名・議会事務局長
町長・助役・職員一名
場所 神山町・勝浦町

神山町にて

基盤整備事業について研修を行う。事業内容は超高速インターネットの利用環境と同時に未利用の空回線を使ったケーブルテレビの配信を当初から計画し、二つの補助事業を組み合わせて事業を実施した。ひとつは地域の教育、行政福祉、防災等の高度化を図るため公共施設を超高速で接続する「地域公共ネットワーク基盤整備事業」。もう一つは、公共ネットワークを活用しつつ家庭まで光ケーブルを整備し、超高速インターネットアクセスが可能な環境を整備する「加入者系光ファイバ網整備事業」により、「地域情報化」に取り組んでいる状況を研修する。



神山町にて

勝浦町にて

①演題「地域情報化と公共ネットワークについて」講師、総務省四国総合通信局情報通信部情報通信振興課課長博多宜雄氏の講演を聞く。続いて②「e」とくしまの推



勝浦町にて

上砂川バイオ株楢木工場

期日 平成十七年七月十二日
参加者 多田議長・他七名・議会事務局長
笠松町長
場所 北海道空知郡上砂川町

上砂川町は北海道空知支管内のほぼ中央に位置し、東部は夕張山脈が南北に走り、石狩平野に接している。

上砂川バイオ株楢木工場は平成五年八月に設立。資本金五千万円で第三セクター、平成十三年に八棟増し合計十七棟で日量一トン出荷。北海道はカネボウが主体であるが、森産業も進出している。空調設備がなければ夏場は栽培がむずかしいとのこと。オガ粉は長万部（竹林木材）から入る。自林地ナラ材が一〇〇％使用米ヌカは地元産、しいたけ原料は軟らかい原木がない冬場は水温二度で菌とオガ粉が分離するので水温十三度位にする。厚膜菌は培養中に発生する。空気の循環が必要である。樹種には関係ない、細かい所に気をつかう。原木乾燥度は関係ない。水分を計り対応する。奇形はバクテリア菌「培養室の管理は清掃に始まり清掃に終わる」菌だけ勉強しているが外は知らない。



カネボウアグリテック株式会社上砂川事務所

売り物を作っている考えが従業員にない。十六年出荷一九五万个道内販売している。一楢木五六〇g以上A品B品八〇％。楢木三億四千万円、しいたけ一億七千万円パック出荷は別会社に委託している。一パック十三円、従業員二十七名。栽培十二名。パート八名で運営している。

ニセコ町 まちづくり基本条例の研修

期日 平成十七年七月十三日
参加者 多田議長・他七名・議会事務局長
笠松町長
場所 北海道虻田郡ニセコ町

ニセコ町は人口四千五百余人、面積一九七km²で北海道の西部に位置しスキーのメッカとして知られている。逢坂誠二町長は一九五九年生まれで現在四十六才、三期目である。予算書「もつと知りたいことしの仕事」の全戸配布、又、ニセコ町まちづくり基本条例を制定して情報の共有、住民参加の先駆的施策を次々に打ち出している。多くの視察者があり、この日も山形県白鷺町区会、宮城県丸森町議会、新潟県村上市議会、京都府舞鶴市議会と上勝町議会、計五十七名が逢坂町長の話を聞いた。画一的でよかつた戦後復興政策、中央集権から現在は、財政難、少子化価値の多様化、日本の国際的立場の変化がある。地方自治は民主主義の根元であり、情報は自治の原動力である。又住民とのコミュニケーションが大切であり、情報を共有すべく、分かりやすく簡単に、成果をあせらず、手をかえ品をか



他県視察者と合同説明をうける

えて繰り返す必要がある。その内に町長と住民との信頼関係ができまちづくりが進んでいく等の話がありました。

議会の動き

4月

- 1日 教職員対面式
- 2日 彩保育園入園式
- 6日 勝名地区町村監査委員連絡協議会定期総会 (佐那河内村)
- 7日 議会広報調査特別委員会
- 11日 上勝小学校入学式
上勝中学校入学式
- 12日 上勝幼稚園入園式
- 13日 議会広報調査特別委員会
- 14日 勝名地区町村議会議長会臨時総会
- 19日 議会広報調査特別委員会
議会全員協議会
- 20日 上勝町戦没者慰霊祭
- 23日 上勝町体育協会総会
- 25日 例月出納検査

5月

- 1日 議会広報第17号発行
- 2日 チップボイラー火入式
議会全員協議会
- 11~13日 勝名監査委員研修会 (南部町・岩美町他)
- 14日 議会全員協議会
- 16日 郡老連総会
- 18日 町内産業視察
総務常任委員会
議会全員協議会
- 20日 勝浦郡町村会総会
- 22日 社協評議員会
- 24~26日 勝名地区正副議長研修 (紫波町・田尻町他)
- 25日 勝浦郡人権教育推進協議会総会
- 27日 例月出納検査
- 31~6月1日 分権改革日本実現全国大会 (東京都)

6月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 徳島県町村議会議長会臨時総会 (徳島市)
- 8日 総務常任委員会学校等施設訪問
- 9日 中央福祉地区老人ゲートボール大会
- 13日 議会全員協議会
- 14日 議会全員協議会
- 16日 第3回議会定例会第1日
議会全員協議会
議会運営委員会
- 19日 上勝町芸術文化協会総会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 岩手県沢内村議会外視察来庁
- 22日 議会定例会第2日
議会広報調査特別委員会
議会全員協議会
議会運営委員会
- 23日 議会定例会第3日
総務常任委員会
議会全員協議会
- 27日 例月出納検査
- 28日 東部広域農道上勝地区促進協議会総会
- 29日 上勝町人権教育推進協議会総会
上勝町表彰審議会
- 30日 東四国横断自動車道建設促進期成同盟会総会 (徳島市)

多田和幸議長が徳島県
町村議会議長会会長に
就任される。

自 平成十七年七月一日
至 平成十八年六月三十日



上勝町人権教育推進協議会総会



勝名地区正副議長研修



東部広域農道上勝地区促進協議会総会

えりも町の
業務委託について

期日 平成十七年七月十四日
参加者 多田議長・他七名・議会事務局長
場所 北海道幌泉郡えりも町

えりも町は北海道の中央部東南端に位置し襟裳岬を中心に北西に二四km、北北東に三〇kmで断崖や岩礁波荒い海の景観は勇壮で知られている。町制施行は昭和三十四年、総面積は二八三・八七km²で、人口六千人である。



大新東株式会社えりも営業所

えりも町行政改革の中の民間委託について、学校給食など二十業務を一括して一企業に任せる大掛かりな民間委託をし、嘱託と臨時職員合わせ、七十四人がこの委託会社に移籍し町はこれにより人

件費の抑制のほか民間手法によるサービスの向上も期待できる。委託は学校給食ほかスクールバス、ごみ収集、学校事務、風の館など施設管理と各業務。受注先は、官公庁の業務代行を全国的に展開している(株)大新東(東京)で、民間企業が自治体の基幹業務以外のほぼすべてを丸ごと受注するのは全国でもめずらしいと思う。町は嘱託制度の廃止で初年度に一千七百万円の人員削減を見込んでいる。

NHKプロジェクトXで放映した海の再生を計る植林事業。植栽後四十年・復元にまだ四十年かかる。



祝
上勝町制五十周年記念式典

上勝町制五十周年記念式典が七月二十三日、コミュニティセンターで、衆参両院から四名の代議士、知事代理、県町村会長、県議会議員、隣接市町村代表、町民を合わせ百十八人の出席のもと盛大に挙行された。町の発展に貢献された地方自治功労者と八団体に表彰状と感謝状を贈呈された。多田議長が、上勝町制五十周年記念を祝い、日々努力の積み重ねの上に立ち、新たな町づくりを目指す時を期し、町民皆様と共に喜びを分かち合い、夢と希望に満ちた未来へと願いをこめて挨拶した。



池谷奉文氏のご講演

次に(財)日本生態系協会の池谷奉文氏が、「世界のまち、日本のまち」と題して記念講演があり、持続可能な社会をつくるためには百年先のビジョンを持つことが大事、上勝町は素晴らしい町になると熱弁されました。



式典会場にて

写真で紹介 まちのようす



野尻用水災害復旧工事（野尻）



傍示1Q運動会によるクリーン作戦



通常砂防事業蔭谷川（神田）



ダムの上水状況 6月下旬（日浦橋から上流）



河川災害復旧工事（福川）



こたえ 完成1996年3月
長さは95m

創刊号からかぞえて、十八回目の発行。毎回／不足気味の知恵をしぼりながらどれだけの人が読んでくれているのだろう。そんなこと思うときもある。――
それが、例えば？であろうと、常に正しく分かりやすく情報をお届けしたい、うだるような酷暑が続くなかスタヂが育ち、晩茶が熟す
健康管理を十分に。

